

**第 30 回記念 トライアスロン IN 徳之島**  
**第 37 回 全日本トライアスロン皆生大会**  
**参 戦 記**

【トライアスロン IN 徳之島 2017.6.25】

昨年は、寒い時期に参加費を振り込みしたものの諸般の事情（痛風、仕事、航空券発見間違い）で、出場を取りやめたという苦い思いも含め思い入れいっぱいこの大会、私がトライアスロンに興味を持った頃から、絶対に出たい大会であったのが、この徳之島大会です。今年で 7 回目、無事出場することができました。（この大会のテーマは「遅くてもあなたが主役」です。）離島ゆえに交通費がかさむため、他の同時期開催の大会と比較して参加人数は 300 名程度と決して多くないのですが、今年は第 30 回記念大会ということで総合の部で 523 名のエントリーがあり、大盛況となりました。レース前の前々日にはウェルカムパーティーがあるのですが、例年私は、土曜日の午後に徳之島入りしています。奄美地方は梅雨明け真近。鹿児島經由で徳之島子宝空港に降り立つと夏の日差しがジリジリと照りつけています。

レースは午前 8 時スタートのため、5 時起床。朝食はあまり喉に通らないので、宿には申し訳ないのだが、朝食はいつも残してしまいます。（ご飯だけいただきます。魚系は pass）天候は曇り、気温は 26 度位、水温は冷たく感じ、もうすぐ満潮を迎えるスイム会場では、波が打ち寄せる。スイムコースはそれを横切るように往復 2 キロ。毎年、潮の流れで前に進まない。午前 8 時スタート。バトルする気はないのだが、前に進まず、後からの選手に追い抜かされ必然的に選手が入り乱れる形となった。それにしても潮の流れが凄い。また、酔ってしまった。「オエツ〜」折り返しまでなかなか辿りつかない。結局スイムは 47 分。この時間帯のスイムアップした選手が多かったように思います。随分出遅れた感を抱きつつ、バイクスタートです。徳之島大会では、バイクコース上のきつかったとポイントの直後に AS が設けられています。小中学生を中心としてボランティアスタッフらによる選手への補給食やスポンジ渡しも慣れており、抜群のタイミングで渡してくれます。本当に出場選手に対して至れり尽くせりの大会であると思います。（スイムスタート会場にも食べ物や飲料あります）時折強い日差しが照り付ける島一周のバイクコースはアップダウンが多く、走りごたえありですが、幾分湿度が低かったため、走りやすいと感じました。結果を見るとあまりスピードに乗れてなかったということですね。ランは、先行する選手に追い上げをかけたところですが、この時間帯からピーカン天気となり、暑さのため、スピードはあがりません。AS ごとに全身水浴びまくりで体を冷やしますが、走り始めるとすぐに体が熱を帯び、次の AS までの道のりが長く長くてたまりません。例年、ランで抜かされることはないのですが、ラスト 3~4 キロ地点で女性にぬかされました。昨年からは、ゴールが競技場から変更になり、ランの距離も短くなりました。ご覧の通り今年初のレースでリザルトはワースト記録でしたが、完走はしました。レース後には、豚汁やおにぎり、ドリンクやフルーツ各種が提供され、ボランティアによる冷タオルによるアイシングもあり、空腹を満たし、疲れを癒すことができます。そして、17 時からはお待ちかねの「どんちゃんパーティー」です。地元婦人会の皆さんが作って下さった郷土料理とトラックの荷台には氷水に浸かったアサヒビール 350ml 缶各種と黒糖焼酎飲み放題ですよ。レース当日にパーティーが楽しめるのもミドルディスタンスならではのですね。ここ数年、毎年出場しておりますが、民宿の方とも親しくさせてもらっています。いつもこの大会に元気をもらい、癒され、全身南国焼けで京都に帰ってくる私でありました。まだ参加されたことのない KTC クラブ員の方、ぜひ、一度出場されてはいかがですか？レース翌日には地元小学校と参加選手との交流会もあります。この大会は普段私達が忘れかけてしまいそんな大切なものを取り戻し、見つけることができる大会であると思います。（ツアー利用で 2 泊 3 日 10 万円近くかかりますが…）来年の第 31 回大会は 7 月 1 日開催です。

## 【全日本トライアスロン皆生大会 2017年7月16日】

続いて皆生ですが、この大会も私の年間恒例行事となっております。今年はずっと KTC 皆生組に加えて彩さん初参加でしたね。ようこそ皆生へ！！土曜日出発の私は、道中バス利用なのですが、昨年に引き続き、またまた中国道が道路工事のため片側通行。渋滞しまくり、当初の予定より 1 時間程遅れて米子到着。「ムチャ暑い！！こんなんでも明日レースたまらなくて！！」という感じでした。競技説明会終了後、KTC 皆生組で記念撮影。今年も北原さんに宿泊先である皆生温泉の毎年宿泊している温泉旅館まで車で送っていただきました。ありがとうございます。今年の私は、例年になく、なぜか明日のレースが楽しみで楽しみで仕方がないという感じでした。その夜は、この旅館で土曜日、日曜日に開催される旅館の社長によるフォークコンサートに「明日トライアスロンに大会に出場される選手の方です」とご紹介いただき、例年の如く飛び入りで♪乾杯♪ギター弾き語りで一曲！！（いや、あと数曲やったかも？）明日もゴール目指して頑張るぞー！！

レース当日の朝は曇り。朝 5 時 30 分に北原さんの宿の前に到着、スタート会場までは徒歩圏内ですので、皆生温泉泊がやはり便利です。海も穏やかなコンディション。トランジションに着替え袋をセットして、北原さん、彩さん、私の 3 人で記念撮影。ワセリン塗って、ロングジョンウェット持って、スイムスタート会場に向かいます。バトル緩和のため、昨年よりフローティングスタートになりました。八尾影一氏によるバトル回避のアナウンス「バトルのない、日本一優しい大会を目指して！！みなさん楽しみましょう！！」の後、皆生トライアスロンの 1 日が午前 7 時にスタートしました。1 週間前の高浜スイムトレのお蔭か、昨年よりも少し早くスイムアップ、とはいえ、400 番代では、後のレース展開にはかなり不利な状況であることは例年と変わりありません。バイクコースは日野川河川敷から地元集落、大山山麓を走るアップダウンの多い 140 キロコース。バイクパートでは気温はそれほど高くなく、まだまだ灼熱の皆生とはいえコンディションでしたが、いつもバイクパート中の塩分補給のため携行する梅チューブを忘れたことが気になり、突っ込むことができませんでした。本当にちょっとしたことがレース運びを左右しますね。ラスト 10 キロ日野川河川敷ではスピードを落とすことはなかったのですが、結果を見れば、ご覧の通りでございます。私にとって皆生大会のバイク記録はレースまでに佐々里峠ライドをどれだけ走り込めるかですね。今年は、1 回だけでした。これではアカンな…バイクパートを終えても先行する選手はまだまだ数知れず…。かつてならお得意のランパートですが、捻挫・靭帯損傷による冬から春にかけての走り込み不足のため、これまた不甲斐ない結果となりました。とにかく折り返しまでは、比較的軽い足取りで、AS 間隔も気にならないのですが、折り返し後は AS 間隔が「まだか！！まだか！！」と長く感じ、体が熱くてたまらん状況でした。AS で全身水を被りまくりますが、走り始めて 1 キロもしない間に体が熱くなる、当然スピードダウン。AS で水被りの時間を惜しむとこのザマです。とはいえ、一刻でも早くゴールしたいし…一人でも追い抜きたいし…本当に自分の体と気持ちとのせめぎ合いですね。25 キロ過ぎたあたりから、かなりペースダウン、この時間帯こそまさにサマータイム？ドリーム？「灼熱の皆生大会」を味わうことになります。30 キロ過ぎの地点で彩さんとすれ違ったのですが、私は笑顔も見せず歪んだ顔…「AS まだかいな！！はよ！！氷水被らして～」の一心でした。途中、残り約 7 キロの地点で応援の外国人に「オ～アト！！10 キロネ！！」と声を掛けられ、私は苦しさのあまりマジ切れして『ちゃうわ！！あと 7 キロや！！』と吠えてしまいました。（笑）オープンペースで迫ってくる女性選手に追いつかれ、ゴールまであと 2 キロちょっと、お決まりの 2 回信号ストップ、絶対おかしい「あと 2 キロ」の看板を横目に毎年毅然しない気持ちのまま、とにかくゴールを目指す。「これは絶対おかしい！！おかしい！！」と競技場内を走りアナウンスの中、ゴール！！今年も 10 時間切りを果たすことはできませんでした。残念。疲労混廃のため、思わず傍の椅子に座り込む。ボランティアスタッフ「車椅子持ってきてみましょうか？」私「冷たいお茶ください…」こんな感じで今年も無事皆生大会をゴールすることができました。

北原さんは調子がいまいちと言いつつも、ご自身の目標を達成され、11 時間 02 分 08 秒で 189 位でゴールされました。お疲れ様でした。松田さんもご家族と一緒にゴールされ、幸せいっぱいでしたね。夕暮れの中、3 人で記念撮影。暑い暑い皆生の夏、いい思い出の写真が撮れました。そして、レース後は、毎年恒例となりました先述の旅館でのフォークコンサート開催です。旅館の社長より「トライアスロンを完走された西川選手です。」とご紹介いただきモーリス

のアカースティックギター片手に高石ともやの皆生トライアスロン大会テーマソング♪サマータイムドリーム♪等数曲披露。わざわざ見に来てくださる北原ご夫妻本当にいつもありがとうございます。また来年も皆生大会を楽しみましょう！！そして、彩さんは表彰目指して頑張ってくださいね。次月以降号では「ROAD TO 佐渡！！」ではなく、「第1回北海道トライアスロン参戦記」です。

### トライアスロン IN 徳之島

開催年	スイム (2km) 2015は1km	バイク 75km	ラン (21km) 2016より20km	TOTAL (98km)
2009	0:37:21 (49位)	2:26:29 (11位)	1:34:56 (7位)	4:38:46 (10位)
2011	0:41:25 (73位)	2:40:12 (35位)	1:42:46 (9位)	5:04:23 (12位)
2012	0:45:37 (92位)	2:41:39 (34位)	1:40:39 (9位)	5:07:55 (18位)
2013	0:41:18 (92位)	2:32:36 (17位)	1:44:57 (9位)	4:58:51 (15位)
2014	0:42:28 (158位)	2:32:30 (28位)	1:40:35 (14位)	4:55:33 (19位)
2015	0:21:23 (128位)	2:27:05 (10位)	1:48:25 (7位)	4:36:53 (7位)
2016	DNS			
2017	0:47:25 (167位)	2:38:27 (34位)	1:47:31 (24位)	5:13:23 (27位)

### 全日本トライアスロン皆生大会

	スイム (3km) ※2012はスイム中止 のため8kmラン	バイク (145km)	ラン (42.195km)	TOTAL (190.195km)
2009	0:54:54 (184位)	4:47:33 (47位)	3:31:54 (11位)	9:14:21 (18位)
2010	0:58:22 (257位)	5:06:33 (105位)	3:53:57 (25位)	9:58:52 (46位)
2011	1:00:34 (270位)	4:53:52 (46位)	3:48:52 (24位)	9:43:18 (29位)
2012	0:33:42 (115位)	5:04:33 (125位)	3:47:40 (22位)	9:25:55 (45位)
2013	1:02:26 (404位)	4:49:03 (63位)	3:51:54 (36位)	9:43:23 (47位)
2014	1:02:05 (515位)	4:55:50 (114位)	3:51:18 (41位)	9:49:13 (71位)
2015	1:06:52 (487位)	4:49:17 (90位)	3:40:52 (19位)	9:37:01 (53位)
2016	1:05:05 (571位)	5:01:14 (131位)	4:02:13 (58位)	10:08:32 (86位)
2017	1:00:20 (419位)	5:00:02 (107位)	4:02:11 (48位)	10:02:33 (71位)